

リーディングDXスクール事業【実践事例】

川西町・三宅町式下中学校組合立式下中学校

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」による主体的な学び充実

中学2年・数学 “一次関数の求め方”

活用ツール

Google Classroom・スプレッドシート

どうやって？誰と？どのように？は誰が決めるのか？



1 事前に学習動画を配信

事前に撮影した解説動画を配信。課題に行き詰った時、いつでも振り返ることができます。個々の理解度や進捗に合わせた学びにつながっています。



2 生徒同士で学びを深める

クラウド環境を活用することで、自由に生徒同士が互いの回答や取組を参照したり、友達と集まって考えを話し合ったりできる授業づくりに取り組んでいます。



3 進捗共有と振り返り

Classroomで共有したスプレッドシートに進捗や振り返りを入力します。教員は、生徒の学習状況を確認しながら、個別にあった指導を行い、評価指標としても活用しています。

取り組みのねらい

教員が生徒一方向的に授業するのではなく、生徒に学びを委ね、教員はファシリテーターの役割を担い、生徒の主体性を大切にしています。生徒は、問題や課題にどうやって取り組もうかを考え、誰と、何を使って、自分に合った学習方法や教材を選択して、学習に取り組んでいます。教員は、クラウド上で生徒の進捗を確認しながら、単元やその時間ごとに取り組みの過程や成果を見取り、評価します。